

◆◇JPA事務局ニュース 〈No. 25〉 - 2011年10月1日-----◆◇

<発行> 一般社団法人 日本難病・疾病団体協議会 (JPA) 事務局  
〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-28 飯田橋ハイタウン610号  
TEL03-6280-7734 FAX03-6280-7735 [jpa@ia2.itkeeper.ne.jp](mailto:jpa@ia2.itkeeper.ne.jp)

☆来年度 (2012年度) 予算厚生労働省概算要求

特定疾患は300億 (前年+20億)、治療研究は100億 (前年同額) を要求

来年度の予算編成にむけて、厚生労働省は総額29兆5882億円の概算要求を決定。財務省に提出しました。

概算要求をまとめるにあたって、医療、年金などの義務的経費 (国庫負担金) 以外の諸経費については一律10%カットするとのしぼりがありましたが、難病対策については、難病医療費助成 (特定疾患治療研究事業) は20億増の300億円で計上、治療研究をすすめるための難治性疾患克服研究事業は80億円、健康長寿社会実現のためのライフ・イノベーションプロジェクト (難病分) 20億円と、いずれも前年同額の計100億円を計上しています。

新規要求として、「難病患者の在宅医療・介護の充実・強化事業」が1.5億円計上されています。災害に対応するための重症神経難病患者災害情報ネットワークの構築、難病患者を対象とする医療・介護従事者研修の実施、在宅医療・在宅介護難病患者データベースの構築などが柱。

腎疾患対策では、腎疾患重症化予防実践事業 (5000万円) が新規に計上されています。

慢性疼痛対策の推進として、新規に「からだの痛み相談・支援事業」 (2000万円) が計上されていることも注目されます。

小児慢性特定疾患治療研究事業 (医療費助成) を含む小児慢性特定疾患対策の推進については131億7700万円を計上 (前年128億3700万円)。

障害保健福祉部の要求は、全体としては9.8%増の1兆2978億円を計上。自立支援医療など「障害者への良質かつ適切な医療の提供」は2,046億円、前年政府案の1,991億円から55億円の増。自立支援医療の利用者負担のあり方については、引き続き検討するとしています。

障害者に対する就労支援の要求では、難治性疾患患者雇用開発助成金は、1億4500万円の前年同額で計上されています。

厚生労働省全体の概算要求については、厚生労働省ホームページに紹介されています。

各局ごとの概算要求PR版は、JPA、「今後の難病対策」勉強会ホームページに掲載していますので参照してください。

<http://www.nanbyo.jp/>

[http://homepage3.nifty.com/kibd/JPAbenkyokai\\_1.html](http://homepage3.nifty.com/kibd/JPAbenkyokai_1.html)

○JPA震災募金について

東日本大震災の震災募金は、多くの疾病団体や難病連での取り組みがすすめられています。取り組めない団体や「被災地の難病連に直接届けてほしい」と寄せられた募金を、JPAで預かります。

<振込口座>

\*ゆうちょ銀行からの振込みの場合

記号：10010

番号：718821

名前：社) 日本難病・疾病団体協議会

\*ゆうちょ銀行以外の金融機関からの振込の場合

振込機関：ゆうちょ銀行

店名：〇〇八（読みゼロゼロハチ）

預金種目：普通預金

口座番号：0071882

名前：社) 日本難病・疾病団体協議会